

社団法人 石油学会

平成15年度 事業計画案

1. 庶務事項

平成15年度も前年に引き続き会員拡大年間として入会金を免除し、会員の増強活動を積極的に推進する。

2. 講演会、討論会、研究発表会ならびに見学会等の事業

本年度の事業計画は次のとおりである。なお、本年度は創立45周年にあたり、下記の事業は創立45周年記念事業の一環として開催される。

月	日	曜	名 称	開 催 地
平成15年				
5	20	火	第44回通常総会、第46回年会 - 受賞講演、特別講演、懇親会	東京 学術総合センター
	21	水	受賞講演、第52回研究発表会、JPIJSポスターセッション	
6	13	金	第23回絶縁油研究発表会、懇親会	京都 京都市勤業館
6	20	金	資源部会講演会	東京 学術総合センター
6	30	月	反応分離シンポジウム	東京 早稲田大学
9	19	金	第3回回転機研究討論会	東京 学術総合センター
10	17	金	精製講演会	東京 江戸川区民ホール
11	17	月	大阪大会	大阪 国際会議場
	18	火	- 特別講演、第33回石油・石油化学討論会、懇親会 -	
	19	水	見学会	
12	1	月	石油製品討論会	東京 学術総合センター
	2	火		
12	11 12	木 金	第34回装置研究討論会	東京 江戸川区民ホール
12	14 15	日 月	第13回日本-サウジ合同セミナー	サウジ ダハラン市
平成16年				
2	13	金	第29回精製パネル討論会	東京 江戸川区民ホール
2	19	木	第4回電気研究討論会	東京 江戸川区民ホール
3	4	木	第21回計装研究討論会	東京 江戸川区民ホール

3. 会務部門

(1) 支部活動

北海道支部

- 1) 平成15年10月に第4回北海道支部講演会を札幌地区において開催予定(開催日未定)。
- 2) 平成15年7月19日(土)、20日(日)に日本化学会北海道支部と共催で、夏季研究発表会を北見において開催の予定。
- 3) 平成16年2月に日本エネルギー学会と共催で、研究発表会を札幌において開催の予定。

東北支部

- 1) 平成15年11月7日(金)、第23回東北支部講演会を盛岡において開催の予定。

東海支部

- 1) 平成15年10月に技術交流会を開催の予定(開催日未定)。
- 2) インターンシップ事業を助成
東海地区の石油精製会社5社が、東海地区の大学生(6大学)を対象に、夏休み1週間~10日間程度の研修セミナーを行うインターンシップ事業を助成する。

関西支部

- 1) 平成15年6月に研究機関・企業見学会開催の予定。
- 2) 平成15年10月に第10回セミナーを開催の予定。
- 3) 平成15年11月17日(月)~19日(水) 開催の大阪大会(本部主催)を支援する。
- 4) 平成15年12月5日(金)に日本エネルギー学会と共催で第12回研究発表会を開催の予定。

中国・四国支部

- 1) 平成15年11月に第24回中国・四国支部講演会を坂出地区において開催の予定。
- 2) 徳山地区において第8回技術交流会を開催の予定(開催日未定)。

(2) 広報活動

- 1) ホームページの内容の充実、維持管理に努める。
- 2) 石油学会から発進する情報、提言を検討する。

(3) ジュニア・ソサイアティ(JPIJS)の活動

- 1) 平成15年4月23日(水)に産業技術総合研究所つくばセンター(中央第5事業所、西事業所)において、石油・天然ガス・石炭・触媒・燃料電池関連の研究室の見学会を実施。
- 2) 平成15年5月21日(水)に第52回研究発表会において「第8回若手研究者のためのポスターセッション」を企画し、実施する。
- 3) 平成15年6月に九州地区幹事会を開催予定。
- 4) 平成15年7月に東北地区講演会を開催予定。
- 5) 平成15年10月に講演会及び見学会を開催予定(内容、開催場所未定)。
- 6) 平成15年11月に工場見学会を開催予定(開催場所未定)。
- 7) 平成15年11月18日(火) 芦屋市奥池(山の家)において、関西地区セミナーを開催の予定。
- 8) 平成16年2月に講演会を開催予定。
- 9) ペトロテックの「JPIJSだより」およびホームページにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

4．学術刊行部門

- (1) ペトロテック(一般誌、月刊)ならびにJournal of the Japan Petroleum Institute(論文誌、隔月刊)を発行する。
- (2) 創立45周年記念事業として、会員名簿の改訂ならびに、単行本「サルファーフリー燃料油」の刊行を行う。

5．研究・技術交流部門

- (1) 表彰
 - 1) 石油学会表彰規程により表彰を行う。
 - 2) 野口記念賞表彰規程により表彰を行う。
- (2) 教育委員会
移動大学「石油関連セミナー」を前年に引続き開催する。
- (3) 国際交流
受託業務を通じて、産油国研究者との現地交流として第13回日本 - サウジ合同セミナー(サウジ)開催、PETROTECH 2003 (The 4th Middle East Refining & Petrochemicals Conference & Exhibition)(Bahrain) 参加及び産油国研究者の受入(6名)を実施する。
- (4) 受託業務
 - 1) (財)国際石油交流センターからの受託事業として産油国研究者との現地交流(第13回日本 - サウジ合同セミナーの開催およびPETROTECH 2003参加)および産油国研究者の受入を実施する。
 - 2) (株)石油産業技術研究所から「国内市場車の運転性能調査」および「ディーゼル車の燃料供給システム調査」の受託業務が予定されている。
 - 3) 外部団体からの調査・研究の受託については積極的に取り組む。
- (5) 外部団体との共同活動
自動車技術会との共催「環境・資源と石油・自動車技術に関する懇談会」は従来どおり実施する。
- (6) 外部団体に対する協力
他学協会、その他関連団体からの事業の共催、協賛などの要請があった場合は、理事会の審議を経て協力する。

6．部会部門

- (1) 資源部会
 - 1) 平成15年11月17日(月)、18日(火)に開催の「第33回石油・石油化学討論会」においてセッションを企画し、協力する。
 - 2) 平成15年6月20日(金)に「資源講演会」を企画し、実施する。
- (2) 精製部会
 - 1) 平成15年10月17日(金)に「精製講演会」を企画し、実施する。
 - 2) 平成16年2月13日(金)に「第29回精製パネル討論会」を企画し、実施する。
- (3) 石油化学部会
 - 1) 平成15年11月17日(月)、18日(火)に開催の「第33回石油・石油化学討論会」においてセッションを企画し、協力する。
 - 2) 平成15年6月30日(月)に「反応分離シンポジウム - 実用に近づく膜反応分離技術を展望する」を企画し、実施する。

- 3) 「触媒シンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。
 - 4) 「ケミカルプロダクツシンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。
 - 5) 「バイオテクノロジーシンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。
- (4) 製品部会
- 1) 平成15年12月1日(月)、2日(火)に「石油製品討論会」を企画し、実施する。
 - 2) ガソリン分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所の依頼により、国内市場車の運転性調査を実施する。
 - b) CFRオクタン価のリサーチ法およびモーター法JIS規格改訂作業に協力する。
 - 3) 燃料油分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所の依頼により、ディーゼル車の軽油低温流動性に関する調査を実施する。
 - b) JIS規格CFRセタン価試験方法の改訂作業に協力する。
 - c) 第14回CFRセタン価照合試験を実施する。
 - 4) 潤滑油分科会
 - a) エンジン汚れ評価法のJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
 - b) 2サイクルピストンレイティングワークショップを開催する。
 - c) 自動車用歯面損傷に関するギヤ評価法の検討を行う。
 - d) JPI-5S-41-93 [エンジン油蒸発性試験方法 (Noack法)] の規格改訂審議を行う。
 - e) JPI-5S-42-93 [エンジン油低温粘度試験方法 (MRV法)] の規格改訂審議を行う。
 - 5) アスファルト分科会

昨年に引き続き、SHRP(新道路研究計画)バインダー試験方法について検討を行う。
 - 6) 絶縁油分科会
 - a) 平成15年6月13日(金)に「第23回絶縁油研究発表会(京都)」を企画し、実施する。
 - b) 絶縁油の初期劣化特性について調査研究を行う。
 - c) 小型変圧器絶縁油保守管理指針を作成するための検討を行う。
 - 7) 試験分析分科会
 - a) 昨年に引き続き石油製品中のCHN(炭素、水素、窒素)分試験方法の検討を行う。
 - b) 昨年度に引き続き石油製品中の水分試験方法の検討を行う。
 - c) 本年度より残留炭素分試験方法の試験精度の把握を検討する。
 - d) 本年度よりJPI-5S-24-84 [ガソリン希釈試験方法] の見直し作業を行う。
- (5) 装置部会
- (5-1) 装置委員会
- 1) 平成15年12月11日(木)、12日(金)に「第34回装置研究討論会」を企画し、実施する。
 - 2) 機器分科会

機器分科会関係規格の見直し及び回転機専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - 3) 配管分科会

フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスカート専門委員会、管及び管継手専門委員会、配管基準専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - 4) 設備保全分科会
 - a) 設備技術専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - b) 平成15年9月12日(金)に「第16回設備保全分科会シンポジウム」を企画し、実施する。

5) 計装分科会

- a) 平成16年3月4日(木)に「第21回計装研究討論会」を企画し、実施する。
- b) 計装技術専門委員会の活動を昨年に引続き実施する。

6) 電気分科会

- a) 平成16年2月19日(木)に「第4回電気研究討論会」を企画し、実施する。
- b) 電気専門委員会の活動を昨年に引続き実施する。

7) 保安分科会

保安技術専門委員会の活動を昨年に引続き実施する。

(5-2) 設備維持規格委員会

石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るために、事業所内における設備の維持規格を作成する。平成15年度は関連5規格として、JPI-8R-11(防食技術)、JPI-8R-12[劣化損傷の評価と対応]、JPI-8R-13[検査技術]、JPI-8R-16[溶接補修]、JPI-8R-17[ホットスタート]を審議し、発行する予定。

(6) 経営情報部会

下記WGを設置し、調査・検討を行う。

- a) 「石油産業における情報インフラの調査」
- b) 「石油産業におけるセキュリティーの現状調査とリスクマネジメントの考察」

(7) エネルギー部会

昨年度同様エネルギー部会講演会を企画し、実施する。

7. 認証部門

(1) 溶接士の認定事業

前年度に引続き認定事業及び溶接功労賞の表彰を行う。

(2) 標準物質の認定事業

現在実施中の重油硫黄分、重油窒素分、重油ニッケル分、バナジウム分、FIA用、軽油硫黄分標準物質、標準ガソリンおよび軽油流動点標準物質の認定事業を継続する。